

2024.04.01

# 49周年事業計画書

2024年4月1日～2025年3月31日

東明興業株式会社

## 経営環境と経営目標（49周年）

現在、海外の紛争は拡大しており、不安定な世界情勢となっています。又、地球沸騰化は進行しCO2削減は急務になっています。首都圏ではインバウンドが増え、大型再開発が次々と着工し経済は右肩上がりになっているものの、資源・エネルギー価格と物価の高騰に加え恒久的な人手不足に歯止めがかからない状況です。一方、2024年4月から全ての産業に対する労働時間の制限や残業対応、ドライバーの走行時間の制限等の規定が実施されます。

このような状況の中、弊社では「49周年事業計画」を策定しました。

品質につきましては、引続き廃プラスチックの分別強化によりフラフ燃料、フォーミング抑制剤、ペレット原料への資源化を進めます。2024年問題の対応として人員・車両の確保、WEB受注を含む配車予約制、積み降ろし時間の短縮、処分場への直送から積替保管への移行を実施して参ります。弊社の対応にご理解、ご協力の上契約していただきました排出事業者様には責任をもって車両の対応をさせていただきます。また、現場の人手不足の対応としてコロBOXとゲート車及びクレーン車による巡回回収をご提案して参ります。

環境につきましてはSDGs宣言に基づき、車両・重機の燃料に「K-S1」を添加しCO2排出量を削減しています。現場では太陽光を電源とした、自動小型移動式圧縮機「スマゴ」と3R推進功労者表彰で国土交通大臣賞を受賞しました自社開発圧縮袋「TSB」を活用して軟質系廃プラスチックを1/5～1/3に減容し運搬車両のCO2削減とコスト削減を提案します。また、所沢工場ではクリーンエネルギーを導入しています。引き続き、近隣地域に対する粉塵・騒音対策、石綿含有産業廃棄物（レベル3）・水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）・フロン類等の混入防止を強化します。解体につきましても石綿の全量検査の実施と施行から報告まで一連のサービスを提供し環境汚染・環境負荷の低減を実施します。

安全につきましては、1月に木くずラインから出火する重大事故が発生しました。夜間パトロールの強化、サーモグラフィー火災監視装置の導入等再発防止を徹底して参ります。昨年に引き続きリチウムイオン電池を含む廃電池類の回収システムを強化します。ISO45001の運用管理、安全基本行動、一声掛け、一人KY、指差呼称の基本原則を厳守し安全衛生委員会の運営強化、解体現場、重点現場に加え工場パトロールを強化します。又、引続きストレスチェック・インシデントアンケート・メンタルヘルスクエアを実施します。

長年継続しております情報開示（搬入/処分/保管量・仕様先の実名と排出量・マテリアルフロー・CO2 量・堆積ゼロ等）を（公財）産業廃棄物処理事業財団の審査を受け情報適正開示施設として適合を頂きました。

また、従来の3Rの取組から限りある資源の効率的な利用を推進するサーキュラーエコノミー（循環型経済）が、世界の潮流となっています。中間処理を始めて35年、リサイクルから資源化へと変革する中、隣接地（8,000㎡ 2,400坪）に全種類の廃プラスチックとがれき類の資源化工場を計画中です。

2024年も適正で高品質な環境と安全に配慮した信頼されるサービスを提供して参ります。

## 経営基本方針

# “いっしょに守ろう”

## きれいな地球・たのしい職場・みんなの利益

- (1)経営の目的・目標(品質評価・環境影響評価・労働安全衛生リスク評価)を戦略的に策定し、コンプライアンス(法令遵守)の厳守と、「品質・環境・安全」の重点事項を実施し、信頼される質の高い経営を実施します。
- (2)適正処理を担保する「産業廃棄物の一連の処理工程」により産業廃棄物処理振興財団の情報適正開示施設の第一号としてすべての情報を開示し石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び、フロン類の受入検査の徹底、廃プラスチックのマテリアル・ケミカルリサイクルとフラフ燃料化による廃プラスチックのゼロエミッションを推進します。
- (3)近隣地域と調和を図り、工場施設及び解体現場の運用管理を強化し環境負荷を低減します。  
SDGs宣言に基づき、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)を削減する為、重機車両の燃料に「K-S1」を添加し、現場には太陽光で動く自動小型移動式圧縮機「スマゴ」と独自開発した圧縮袋「TSB」を活用し軟質廃プラスチックを1/5~1/3に減容し、運搬車両のCO<sub>2</sub>削減とコスト削減の提案を継続します。
- (4)安全衛生委員会では、ISO45001の運用、解体現場、重点現場及び工場夜間パトロールの強化、火災予防を目的としたサーモグラフィ火災監視装置の導入とリチウムイオン電池等の回収システムを強化します。  
引き続き、インシデントアンケート、ストレスチェックに加えメンタルヘルスケアを実施します。
- (5)新しい時代を担う人材育成とセールスドライバー、協力業者の教育、専門業者として特化した技術と長年培ってきたノウハウの伝承とモラル、マナー教育並びに社内外の行事を通してコミュニケーションの充実を図ります。  
資源の効率的な利用を目的とした全種類の廃プラスチックとがれきの資源化工場の計画を推進します。

